

報道関係者各位

第 13 回科学の甲子園ジュニア全国大会山形県 2 次予選の開催について

標記について、下記のとおり開催しますので、当日の取材についてよろしくお願いいたします。
ます。

記

- | | | | |
|---|-------|---|---|
| 1 | 日 | 時 | 令和 7 年 9 月 21 日(日)
9:30～ 9:50 開会式
10:00～12:00 実技競技・競技に関するシェアリング(工夫した点等の意見交換)
12:10～12:30 閉会式 |
| 2 | 場 | 所 | 山形大学基盤教育 3 号館 1 階 共創ラボラトリー
(山形市小白川町一丁目 4-12) |
| 3 | 主催・共催 | | 山形県教育委員会 国立大学法人山形大学 |
| 4 | 後援 | | 山形県中学校長会 山形県中学校文化連盟
山形県中学校教育研究会理科部会 |
| 5 | 参加者 | | 県立東桜学館中学校 A チーム 県立東桜学館中学校 B チーム
県立東桜学館中学校 C チーム 県立致道館中学校 A チーム
県立致道館中学校 B チーム
※ 8 月に行われた 1 次予選(筆記競技・17 チーム参加)の上位 5 チームが 2 次予選に参加 |
| 6 | 目的 | | 県内中学生が理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成する。 |
| 7 | 内容 | | (1) 1 チーム 6 人で協働して実技競技に取り組み、実験の正確さや観察力、考察力、ものづくりにおける創意工夫を競い合う。
(2) 実技競技は実験系と工作系の 2 分野あり、2 組に分かれて取り組む。
(3) 別日程で採点后、各競技の得点の合計によって順位を決定する。優勝チームは山形県代表として、全国大会(12/12～14)への出場権を得る。なお、表彰式は後日開催する「強化研修会」の中で実施する。 |
| 8 | その他 | | 取材のため会場へ入場する際は、受付で手続きをお願いします。 |

【問い合わせ先】

教育局義務教育課 課長補佐 安達 納
電話 023-630-2866
広報監 教育局長 安達 晃司